

総合戦略の検証シート2【KPI一覧表】

【資料3】

基本目標	基本的方向	具体的な施策	目 標	実 績（平成28年3月末時点）		所管名 （括弧内：旧所管名）
			平成32年 KPI	策定時点	平成27年度	
1 ■基本目標1■ 企業が成長し、 地域経済に元気を もたらすまち	(1) 北大阪健康医療都市における国際級の複合医療産業拠点の形成	① 健康・医療産業の創出	◆「開業率-廃業率」 3ポイント以上	2.1ポイント （平成26年度）	-	北大阪健康医療都市推進室 （吹田操車場跡地まちづくり室）
			◆岸辺駅の1日当たりの利用者数 22,000人以上	15,403人 （平成25年度）	-	
	(2) 市内への企業移転・進出による地域産業の活性化	① 地域経済活性化につながる企業誘致	◆企業誘致件数 年間5件	0件 （平成26年度）	1件	地域経済振興室
	(3) 創業促進や企業の成長支援による雇用の創出	① 創業・第二創業の促進	◆産業競争力強化法に基づく創業支援事業による創業者数 5年間で300人	76人 （平成26年度）	平成28年 4月中旬頃	地域経済振興室
			◆「開業率-廃業率」 3ポイント以上 ※再掲	2.1ポイント （平成26年度）	-	
			◆起業家交流会参加者数 年160人以上	174人 （平成26年度）	162人	
		② 事業承継や企業定着への支援	◆「開業率-廃業率」 3ポイント以上 ※再掲	2.1ポイント （平成26年度）	-	地域経済振興室
			◆事業所における労働生産性（従業員1人あたり付加価値額） 504万円	480万円 （平成24年）	-	
5	(4) 魅力ある商業地づくり	① 商店街等の活性化	◆商店街等における空き店舗率 7.3%以下	9.0% （平成27年度）	9.0% （平成27年10月1日現在）	地域経済振興室
6 ■基本目標2■ 「住む」「楽しむ」 新たな魅力が 見つかるまち	(1) 都市魅力の強化と戦略的な情報発信	① シティプロモーションによる効果的な情報発信	◆本市観光施設利用者数5年間で1億人	367万人 （平成25年度）	372万人 （平成26年）	シティプロモーション推進室（地域経済振興室）
			◆転入超過（転入者数が転出者数を上回る）を維持	1,939人 （平成26年）	1,247人 （平成27年）	
		② 情報発信プラザ（Inforestすいた）を拠点とした魅力発信	◆本市観光施設利用者数5年間で1億人 ※再掲	367万人 （平成25年度）	372万人 （平成26年）	シティプロモーション推進室（地域経済振興室）
			◆Inforestすいた利用者数の利用者数 年60万人	-	177,643人 （平成27年11月16日から平成28年2月末）	
			◆市内飲食店・物販店等の経済効果（アンケートによる調査を実施）：効果有の回答率60%以上	-	-	
		③ ガンバ大坂ホームタウンの推進	◆サッカースタジアム年間来館者数 60万人	-	-	文化スポーツ推進室（スポーツ推進室）
	(2) 環境に配慮した快適で機能的なまちづくり	① 安全・快適な道路環境の整備	◆交通バリアフリー化整備率 92.5%（平成32年度末までに100%整備予定）	43.7% （平成26年度末）	49.1%	道路室 総務交通室
			◆「（仮称）吹田市自転車走行環境整備計画」の策定、計画に基づく整備の実施	-	-	
		② みどり環境の継承と充実	◆街路樹及び公園緑地樹木の倒伏による事故件数 年間0件	1件 （平成26年度）	0件 （平成27年度）	道路室 公園みどり室
			◆「吹田市は、木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる」市民の割合 62%	61.4% （平成26年度）	-	
			◆吹田地域の緑被率 30%	26.1% （平成25年度）	-	
		③ 環境先進都市をめざした取組	◆地域の年間エネルギー消費量 15.9PJ（ペタジュール）	19.7PJ （平成24年度）	-	環境政策室
			◆地域における太陽光発電システム導入件数累計及び設備容量 4,000件 22,000kW	2,462件 11,719kW （平成26年度）	-	
			◆熱帯夜日数（5年移動平均） 35日以下	40日 （平成26年度）	-	

総合戦略の検証シート2【KPI一覧表】

【資料3】

基本 目標	基本的方向	具体的な施策	目 標	実 績（平成28年3月末時点）		所管名 （括弧内： 旧所管名）
			平成32年 KPI	策定時点	平成27年度	
■ 基本目標3 ■ 就職・子育ての希望が かない、未来を担う人材が育つまち	(1) 若者の地元就職への支援と働きやすい環境の整備	① 若者と市内企業のマッチング	◆大学生の地元企業への就職希望率 35.8%	30.8% (平成27年度)	-	地域経済振興室
			◆就労支援施策等による若年者の就職者数 5年間で2,250人	299人 (平成26年度)	301人	
		② ワーク・ライフ・バランスに関する啓発	◆育児休業制度を就業規則に記載している事業所 50%	40.0% (平成24年度)	50.0%	男女共同参画室 男女共同参画センター 地域経済振興室
			◆介護休業制度を就業規則に記載している事業所 50%	33.8% (平成24年度)	0.436	
			◆育児休業取得者 20%	10.3% (平成24年度)	0.078	
			◆介護休業取得者 10%	1.8% (平成24年度)	0.005	
	(2) 子育てしやすい環境の整備	① 質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供	◆既存保育所8か所が認定こども園に移行する。	2園 (平成27年4月現在)	7園 (平成28年4月現在)	保育幼稚園室 (保育幼稚園課)
			◆既存幼稚園18か所が認定こども園に移行する。	0園 (平成27年4月現在)	1園 (平成28年4月現在)	
		② 地域の子育て支援の一層の充実	◆安心して子育てができる環境にあると思う子育て世帯の割合 70%	62.3% (平成26年度)	-	子育て支援課 (子育て支援室) のびのび子育てプラザ 放課後子ども育成課（児童育成課） 青少年室
			◆就学前児童数の増加数 年間400人	355人 (平成26年度)	年間449人 (平成28年3月1日時点)	
			◆子ども・子育て応援サイトのアクセス件数 年間120,000件	8,657件 (平成27年4月)	年間124,191件 (平成28年2月末時点)	
			◆留守家庭児童育成室待機児童数 0人	0人 (平成27年4月1日)	0人 (平成28年3月1日)	
			◆太陽の広場・地域の学校 開催回数 2,400回	2,241回 (平成26年度)	2114回	
		③ 保育の量的拡大・確保	◆保育所待機児童数 0人	90人 (平成27年4月1日)	未定 (平成28年4月1日) (5月末に確定予定)	保育幼稚園室 (保育幼稚園課)
	(3) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	① 吹田版ネウボラの整備	◆保健師による妊婦面接の実施の割合 100%	14.5% (平成26年度)	12.2% (11月末)	保健センター 子育て支援課 (子育て支援室) のびのび子育てプラザ
			◆新生児訪問の実施率80%	40% (平成25年度)	-	
		② 父親の育児参画などの推進	◆乳幼児健診（1歳6か月児健康診査）の問診で父親の育児参画について「よくやっている」と回答する人の割合 50%	39.6% (平成26年度)	-	保健センター
	(4) 未来を拓く教育の充実	① 健やかに安心して学べる教育環境の充実	◆いじめ事案の解消率 100%	小学校94.1% 中学校98.7% (平成26年度)	小学校93.7% 中学校98.6% (平成27年度)	指導室（指導課） 教育センター
			◆学校図書館での一人あたりの年間図書貸出冊数 小学校：40冊、中学校：8冊	小学校23.6冊 中学校3.8冊 (平成26年度)	小学校27.5冊 中学校4.0冊 (平成27年度)	
		② 英語教育の充実	◆小学校1年生から英語指導助手を配置している小学校数 36校	16校 (平成27年度)	16校 (平成27年度)	指導室（指導課）
			◆OSAKA ENGLISH VILLAGEへの体験学習を全ての小学校 36校で実施	-	2校 (平成27年度)	

総合戦略の検証シート2【KPI一覧表】

【資料3】

基本 目標	基本的方向	具体的な施策	目 標	実 績（平成28年3月末時点）		所管名 （括弧内： 旧所管名）
			平成32年 KPI	策定時点	平成27年度	
21 ■ 基本 22 目標4 ■ 23 誰もが安心して暮らせる「幸齢社会」が実現するまち 24 25 26 27	(1) 健康・医療のまちづくりによる健康寿命の延伸	①「生涯活躍のまち」（健都版 CCRC）の取組	◆健康寿命 男性81歳、女性85歳	男性79.94歳 女性83.66歳 （平成22年）	-	北大阪健康医療都市推進室（吹田操車場跡地まちづくり室） 高齢福祉室（高齢政策課） 中央図書館
			◆（仮称）健都ライブラリーの年間利用者数 延べ11万人以上	-	-	
		② 市民の健康づくりの支援	◆健康寿命 男性81歳 女性85歳 ※再掲	男性79.94歳 女性83.66歳 （平成22年）	-	保健センター 国民健康保険室
			◆国保特定健診の受診率 60%以上	47.4% （平成25年度）	47.2% （平成26年度）	
		③ 運動による健康増進の取組	◆健康寿命 男性81歳、女性85歳 ※再掲	男性79.94歳 女性83.66歳 （平成22年）	-	文化スポーツ推進室（スポーツ推進室）
			◆日常生活における運動の実施頻度 週に1回程度以上の人が53.0%	49.6% （平成26年度）	-	
	(2) 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり	①「地域包括ケアシステム」の構築	◆生活支援コーディネーター配置数 全市域担当を1人、サービス整備圏域ごとに各1人を配置	-	-	高齢福祉室（高齢政策課、高齢支援課）
			◆高齢者生活支援体制整備協議会をサービス整備圏域ごとに設置	-	-	
		②「幸齢者のたまり場」づくりへの支援と孤立化の防止	◆地域包括支援センター設置数 15か所	13か所 （平成26年度）	13か所 （平成27年度）	高齢福祉室（高齢政策課、高齢支援課） 福祉総務課
			◆ふれあい交流サロン整備数 12か所	4か所 （平成26年度）	4か所 （平成27年度）	
			◆33地区の地区福祉委員会がひとり暮らしの高齢者を対象に行うふれあい屋食会の参加人数 12,000人	10,235人 （平成26年度）	-	
		③ 介護予防・認知症予防の推進と高齢者を見守り支える地域づくり	◆認知症サポーター養成数 33,100人	10,726人 （平成26年度末）	13,929人 （平成28年2月末）	高齢福祉室（高齢政策課、高齢支援課）
			◆高齢者支援事業者との連携による見守り事業者延べ事業者数 650事業者	376事業者 （平成26年度）	470事業者	
			◆救急医療情報キット延べ配布数 22,500人	10,789人 （平成26年度末時点）	11,980人	
			◆成年後見制度利用支援事業 34件	16件 （平成26年度）	20件 （平成27年度）	
		④ 障がい者が地域で安心して暮らせるための体制整備	◆グループホーム利用者数 679人	260人 （平成26年度）	295人 （H28.3.30）	障がい福祉室
			◆ショートステイ利用者数 378人	180人 （平成26年度）	221人 （H28.3.30）	

総合戦略の検証シート2【KPI一覧表】

【資料3】

基本 目標	基本的方向	具体的な施策	目 標	実 績（平成28年3月末時点）		所管名 （括弧内： 旧所管名）
			平成32年 KPI	策定時点	平成27年度	
28 （ ■基本目標4■ ） 29 誰 も が 安 心 し て 暮 ら せ る 「 幸 齢 社 会 」 が 実 現 す る ま ち ） 30 31 32 33	(3) 地域コミュニティの強化による安心安全のまちづくり	① 災害に強いまちづくり	◆連合自治会単位での自主防災組織の結成数 35団体	21団体 （平成27年12月）	22団体	危機管理室 福祉総務課 水循環室（下水道管理課）
			◆地震や風水害などに対する対策に満足と感じる市民の割合 50%	19.0% （平成26年度）	-	
			◆防災訓練で災害時要援護者についての訓練を実施している団体の割合75%以上	38% （平成26年度）	-	
			◆市民の福祉避難所の認知度50%以上	2.7% （平成26年度）	-	
		② 地域防犯力の向上	◆刑法犯の認知件数 1,731件	3,461件 （平成26年）	3428件	危機管理室
			◆犯罪が少ないなど、治安がよいまちであると感じる市民の割合 70%	42.8% （平成26年度）	-	
		③ 消防団の活性化	◆消防団員数の維持	190人 （平成27年4月1日現在）	189人 （7名入団、8名退団） （平成28年3月31日現在）	消防本部総務 予防室（消防本部総務課）
	(4) 市民ニーズの変化に応じた都市の形成	① 持続可能な都市経営の推進	◆（仮称）吹田市公共施設等総合管理計画を策定する。	-	-	資産経営室 計画調整室 （都市整備室）
			◆「吹田市立地適正化計画」を策定する。	-	-	
		② 広域連携による施設利用の検討	◆広域連携（相互利用）実施自治体 5市	3市 （平成27年10月1日現在）	3市	中央図書館
		③ 空き家対策の推進	◆腐朽・破損のある空き家の割合 増加させない	29% （平成25年）	-	住宅政策室